

- 建設上手くんα Pro II VERSION:14.309
- 建設上手くんαクラウド Pro II・建設上手くんαクラウド SE Pro II VERSION:14.309

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1・10 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 元帳検索

①仕訳修正タブに移動した際に、業務が落ちてしまっていたのを修正しました。

➤ 残高問い合わせ

①仕訳入力から残高問い合わせへの遷移時に、本来とは異なる箇所に移動してしまう現象を修正しました。

◆ 出力

➤ 総勘定元帳

①表示画面タブに移動または出力を行った際に、業務が落ちてしまっていたのを修正しました。

◆ 工事台帳

➤ 工事・工種別原価集計表出力

①工事番号にスペースが含まれている工事を出力した際に、該当する工事の工事番号が「00000000」と出力されていたのを修正しました。

◆ その他の修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理 d b (VERSION: 14.309) の変更点”を参照してください。

ご注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

財務処理 d b (VERSION:14.309) の変更点

修正

I. 登録・入力

1) 元帳検索

①下記の条件で仕訳修正タブに移動した際に、業務が落ちてしまっていたのを修正しました。

《条件》

- (1)手形番号が 13 桁以上入力している仕訳が存在している。
- (2)消費税は「既定」を選択している。
- (3)部門 ON の状態。
- (4)形式で「元帳」を選択している。

2) 残高問い合わせ

①下記の操作を行った場合、仕訳入力から残高問い合わせへの遷移時に、本来とは異なる箇所に移動してしまう現象を修正しました。

《パターン 1》

- (1)残高問い合わせで、表示されているいずれかの行を選択。
- (2)仕訳入力を開き、(1)で選択した科目・枝番と異なる仕訳の金額を修正。
- (3)(2)で修正した仕訳の科目欄を選択し、キーボードで「Ctrl」+「F3」を押して残高問い合わせに遷移。
- (4)本来は(3)で選択した科目・枝番と一致する行が選択されるはずが、(1)で選択した行がそのまま選択された状態で表示される。

《パターン 2》

- (1)残高問い合わせで、表示されているいずれかの特殊科目行または分類行を選択。
- (2)仕訳入力を開き、任意の仕訳の金額を修正。
- (3)(2)で修正した仕訳の科目欄を選択し、任意の方法で残高問い合わせに遷移。
- (4)本来は(3)で選択した科目・枝番と一致する行が選択されるはずが、(1)で選択した行がそのまま選択された状態で表示される。

3) 科目設定・残高登録

①一部のマスターの作成時に、科目の「支払手数料」のフリガナが「シライ枚」になっていたのを「シライ入」に修正しました。

《対象マスター》

- ・業種：個人（標準科目体系）のマスターを新規作成した場合。
- ・業種：建設のマスターを新規作成した場合。
- ・業種：建設のマスターを財務マスターコンバージョン業務で、従来財務から財務処理 db にコンバージョンした場合。

《注意》

- ・当プログラムをインストール後に、新規でマスターを作成する場合に「シライ入」の正常な状態でマスターの作成を行います。
- ・既存のマスターに関しては、自動でフリガナは変更されません。
- ・必要に応じて、手動で修正していただきますようお願いいたします。

Ⅱ. 出力（DX・ProⅡのみ）

1) 総勘定元帳（経理上手くんαの場合は登録・入力／指定元帳）

①下記の条件で表示画面タブに移動または出力を行った際に、業務が落ちてしまっていたのを修正しました。

《条件》

- (1)手形番号が 13 桁以上入力している仕訳が存在している。
- (2)消費税は「既定」を選択している。
- (3)部門 ON の状態。
- (4)種別で「元帳」を選択している。

2) 変動損益計算書

①同一小分類内の明細科目で、異なる固定費、変動費比率を設定している場合に、連月変動損益計算書において、当期マスターの「前期変動費計」「前期固定費計」の金額が同一小分類内の先頭科目の固定費、変動費比率で計算されていたのを修正しました。

《例》

●前提

(1)令和 6 年度マスターにおいて、下記の固定費、変動費比率を設定する。

- ・仕入高 1…固定費 50%、変動費 50%
- ・仕入高 2…固定費 0%、変動費 100%
- ・仕入高 3…固定費 30%、変動費 70%

(2)令和 6 年度の仕入高 1,2,3 それぞれに 1,000 円分の仕訳を入力する。

●出力結果

(1)令和 6 年の連月変動損益計算書の場合

$$\begin{aligned}
 \text{仕入高（変動費）} &= \text{仕入高 1} + \text{仕入高 2} + \text{仕入高 3} \\
 &= 1,000 \times 50\% + 1,000 \times 100\% + 1,000 \times 70\% \\
 &= 500 + 1,000 + 700 \\
 &= 2,200
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{仕入高（固定費）} &= \text{仕入高 1} + \text{仕入高 2} + \text{仕入高 3} \\
 &= 1,000 \times 50\% + 1,000 \times 0\% + 1,000 \times 30\% \\
 &= 500 + 0 + 300 \\
 &= 800
 \end{aligned}$$

(2)令和 6 年分を令和 7 年マスターの連月損益計算書から確認した場合

$$\begin{aligned}
 \text{前期変動費計（仕入高）} &= \text{仕入高 1} + \text{仕入高 2} + \text{仕入高 3} \\
 &= 1,000 \times 50\% + 1,000 \times 50\% + 1,000 \times 50\% \\
 &= 500 + 500 + 500 \\
 &= 1,500
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{前期固定費計（仕入高）} &= \text{仕入高 1} + \text{仕入高 2} + \text{仕入高 3} \\
 &= 1,000 \times 50\% + 1,000 \times 50\% + 1,000 \times 50\% \\
 &= 500 + 500 + 500 \\
 &= 1,500
 \end{aligned}$$

②新規会社登録・修正・削除業務で「推定在庫：自動棚卸」に設定しているマスターにおいて、決算修正月を指定して連年変動損益計算書を出力した場合に、仕訳入力業務で入力を行った棚卸仕訳が集計されなかったのを修正しました。

※連月変動損益計算書は正常に集計されていました。

Ⅲ. 工事台帳（建設上手くんαProⅡのみ）

1) 工事・工種別原価集計表出力

- ①工事番号にスペースが含まれている工事を出力した際に、該当する工事の工事番号が「00000000」と出力されていたのを修正しました。

2) 工事別管理集計表出力

- ①工事番号にスペースが含まれている工事を出力した際に、「工事基本情報マスターでエラーが発生しました。印刷処理を中断します。」とエラーメッセージが表示されて、正常に出力できなかったのを修正しました。
- ②出力オプションの「完成月までは完成日に完成予定日を出力する」がチェック ON の状態で、工事区分に“未成工事”を指定して下記の帳票を出力した際に、完成予定日が出力されていなかったのを修正しました。

《対象帳票》

- ・工事別管理集計表タイプ A
- ・工事別管理集計表タイプ B
- ・工事管理月報

以 上